

犬や猫の飼い主さんによく質問をされることの一つに、「避妊・去勢手術を受けさせるべきでしょうか？」というものがあります。そんなときは、メリットとデメリットをお伝えしたうえでご家族で決めていただくようにお話ししています。

では、まずメリットは？
第一に病気の予防です。メスであれば卵巣と子宮の病気、乳腺腫瘍など、オスであれば精巣や前立腺の病気などが予防できるといわれています。乳腺腫瘍については手術する時期により予防効果が変わってきます。

次にストレスの軽減です。毎回発情の欲求が満たされな

あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ
⑥

避妊・去勢手術はすべきか？

いようであれば取り除いてあげた方が幸せかもしれません。動物福祉の考え方に、5つの自由を満たすというものがあります。①渇きと飢えからの解放②不快からの自由③苦痛・損傷・疾病からの自由④正常行動発現の自由⑤恐怖・苦悩からの解放。④の正常行動の中には繁殖行動も含まれています。

次にデメリットです。手術をすることで高まるリスクが大きく2つあります。1つ目は手術そのもの。健康体に対してとはいえ、全身麻酔下で、メスの場合はおなかを開

ける手術です。術前にしっかり術前検査を受けておくことをお勧めします。

次に肥満です。発情行動にかかるエネルギー消費がなくなり、生殖器がなくなることによって代謝も下がりますので太りやすくなります。食事や運動などで肥満予防に努めることが重要となってきます。

これらを踏まえたうえで決断するのはご家族です。わが子にとってどちらが最良か、家族みんなで話し合って決めてあげてください。

(アニコム損保

獣医師 井上舞)